

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢診療所 管理運営費					
担 当 課 係 名	田沢診療所	課	-	係	作成者	米澤 実
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち				総合計画の ページ
	基本計画	地域医療、救急、医療体制の整備				
	主要施策	診療所の管理運営				49
予 算 費 目	田沢 特別 会計	1 款	総務費	1 項	施設管理費	1 目 一般管理費
事 業 期 間	平成	年度	～ 平成	年度	新規／継続の区分	継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	仙北市国民健康保険診療所条例、国民健康保険法 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民のため予防と診療の一体的提供を行う
事業の目的・意図 (どういう状態に したいのか)	地域医療を確保するとともに疾病予防、介護予防を通じ、地域住民の健康と安心を守る
事業の内容 (どのような業務、 活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施するとともに経営の効率化を図る

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	診療日数	目標	日	48	50	46	
			実績	日	48	50	46	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	受診者数	目標	人	1,440	1,250	920	
			実績	人	1,345	1,150	829	
			達成度	%	93.4%	92.0%	90.1%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				8,707	9,523	10,726	
	人 件 費 (B)		—		1,571	1,614	1,585	
	職 員 数		—		0.20	0.20	0.20	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				10,278	11,137	12,311	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				10,278	11,137	12,311
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		214,125	222,740	267,630	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		322	354	397	

【事務事業の今までの成果】

地域医療の確保

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	地域医療の確保

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	医療スタッフの確保を含め業務体系の検討も必要なことからB 2判定とした
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）
現田沢湖病院からの医療スタッフ継続派遣の検討行う 受診者数が減少する傾向にあるため、診療時間の再検討も必要である。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	十分な医療を提供できる体制かどうか、診療体制の再検討が必要と考えます。

